

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

平成 30 年 5 月 8 日

審査機関名 リテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	ランバーやまと協業組合における木質バイオマス利用ボイラーへの更新
承認番号	JCDM-PJKC0897
排出削減事業者名	ランバーやまと協業組合
排出削減共同実施事業者名	ES カーボンクレジット合同会社
事業実施場所	ランバーやまと協業組合 高月工場 (熊本県上益城郡山都町高月 496-4)
事業の概要	木材乾燥用に使用する蒸気の供給を、事業実施前の A 重油焚きボイラーから木質バイオマスボイラーに変更し、カーボンニュートラルな木質バイオマスエネルギー利用によって、CO ₂ 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2011 年度：442tCO ₂ /年 2012 年度：2,123tCO ₂ /年 2013-2018 年度：2,169 tCO ₂ /年 2019 年度：1,693t CO ₂ /年 (事業実施期間合計 17,272 tCO ₂)
認証期間	開始日 2012 年 1 月 12 日 終了予定日 2020 年 1 月 11 日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2020 年 1 月 11 日となっている。
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2017年11月30日（第2回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	15,153 tCO ₂ （2013年4月1日～2017年11月30日）
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないため該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 ボイラー月報による燃料使用量データ及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 給水量・ブロー量月別集計表による給水量、ブロー量の計測結果、事業実施前ボイラーのカタログによる効率値及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 給水量・ブロー量月別集計表による給水量、ブロー量の計測結果及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.0により、排出削減量の算定式及び使用さ

	<p>れている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>排出削減量の算定結果を給水量・ブロー量月別集計表による給水量、ブロー量の計測結果データと集計表との突合、さらに計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。</p>
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	<p>今回の実績確認対象期間は2013年4月1日から2017年11月30日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2020年01月11日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における再生可能エネルギー利用量は、原油換算 4,467.4KL、熱量換算 173,156.4GJ であることを確認した。

以 上